

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 孤独・孤立対策推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 地域福祉係 電話番号：058-272-1111 (内3446)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 759 千円 (前年度予算額： 759 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	759	759	0	0	0	0	0	0	0
要求額	759	0	0	0	0	0	0	0	759
決定額	759	759	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

社会全体のつながりが希薄化している中、コロナ禍において自殺者が増加するなど、「孤独・孤立」の問題が全国的に顕在化したため、孤独を感じ、社会的に孤立する方々に、必要な支援を的確に行き届かせることが重要。

本県においても、令和3年度に関係25課により構成する「岐阜県孤独・孤立対策庁内連携会議」を立ち上げ、庁内横断的な体制を構築するなど、孤独・孤立対策に取り組んでいる。

(2) 事業内容

○孤独・孤立対策に関連のある支援団体との意見交換会や岐阜県地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム関係会議等の開催

- ・県の孤独・孤立に関連のある施策や、岐阜県地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームに対して意見を聴取
- ・支援団体との連携強化

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	512	出席者報償費
旅費	138	出席者旅費
需用費	22	消耗品（用紙、コピー等）、会議費（飲料水）
役務費	12	郵送代、電話代
使用料及び賃借料	75	会議室使用料
合計	759	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・孤独・孤立対策の重点計画（内閣官房 R3. 12. 28策定）

(2) 国・他県の状況

<国>

- ・孤独・孤立対策の重点計画を策定（内閣官房 R3. 12. 28策定）
- ・孤独・孤立の実態把握調査を公表（内閣官房 R4. 4公表）

<他県>

- ・内閣官房が公募した「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」に9道府県が参加（岐阜県含む）

(3) 後年度の財政負担

一般財源対応予定

(4) 事業主体及びその妥当性

本県における独自の孤独・孤立対策を推進するため、県負担は妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ・生きづらさを感じている、生活資金に困っている、ひきこもり、いじめ、虐待、子育て、ひとり親、DV、消費者被害、犯罪被害など、様々な悩みにより孤独を感じ、社会的に孤立している方を支援

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

孤独・孤立の定義は定まっておらず、関係事業も分野横断的かつ幅広に存在するため、指標を設定することは困難

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 特になし</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 関係25課で構成する孤独・孤立対策庁内連携会議を設置し、分野横断的な取組みを推進するとともに、市町村との意見交換や関係団体へのヒアリングなどを実施し、孤独・孤立対策の課題等を洗い出した。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

○孤独・孤立対策に関連のある支援団体との意見交換会や岐阜

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>社会全体のつながりが希薄化している中、今般のコロナ禍において自殺者が増加するなど、孤独・孤立の問題が全国的に顕在化しているため対策が必要。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>関係機関における孤独・孤立の情報共有などが図られ、庁内各課においても現状の課題(相談方法の多様化が必要など)を踏まえた新規・拡充事業が実施されてきている。</p>
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>国の動向などについて、適切な時期に庁内連携会議を開催して情報を共有するなど、効率的に事業を推進できている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 国も孤独・孤立対策担当大臣や担当室を設置し対策に取り組んでいるものの、地方自治体の役割を明確に示しておらず、また、昨年度実施した孤独・孤立の実態把握調査についても結果を分析中であるなど、県が取り組むべき孤独・孤立対策の方向性が不明瞭。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度も現状の取組み(庁内連携会議の開催など)を継続しつつ、国による孤独・孤立の実態把握調査の分析結果や、岐阜県地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームによる検討などを踏まえ、本県の状況に適した孤独・孤立対策を推進する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	